

R5.放課後等デイサービス 自己評価表 (子どもサポートセンター シェアハート花丘)

	チェック事項	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動によって年齢別スペースを設けて過ごしやすくしている
	② 職員の配置数は適切であるか	○			専門職員を配置している
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			明るく生活しやすい環境になっている
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日情報共有しており支援目標を統一している
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年評価を受け入れ、業務改善を図っている
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公表し、周知に努めている
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			毎年評価を受け入れ、業務改善を図っている
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修(現在はリモート)に参加したり、内部研修を行い支援の質の向上に努めている
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者面談を行い、ニーズを把握し発達状況を理解したうえで支援計画を作成している
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動プログラムについてはチームで立案し、事前に打ち合わせ事後情報交換を行っている
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			支援後、子供たちの発達状況に応じて行っている
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日は身体を動かす活動を取り入れながら、体幹や感覚統合を鍛えるような動きを中心にメリハリをついた活動を意識して行っている
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			プログラムは事前に決定しているが子供の発達状況に応じて組み合わせも変化させている
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援前に必ず支援活動の打ち合わせを行い、一人一人の子供の現在の共有している。
⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援後は振り返りをし、今後の対応について共通理解する	
⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援後、必ず個別の支援記録を行う	

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6カ月に1度見直しを行っている
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			開催された場合は管理者が出席している
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			気になる児童がいる時には送迎時やこちらから直接電話をかけて情報交換を積極的に行っている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				現在、対象児なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				現在は行っていない
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				対象児童無し
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々のフィードバックの際に、子供の様子、課題について話をしたり、連絡帳に記している。必要であれば面談をしている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っている
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			希望に応じて面談を行っている
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	コロナ禍のため控えている

保護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			面接や電話で迅速に対応している
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			シェアハートだよりを発行し、写真なども記載し発信している
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報が記載している書類は鍵付きのキャビネットで保管している
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			常に情報交換をしている
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			もちつき行事等で地域と交流している
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			訓練を実施し（年4回）職員、保護者との周知を図っている
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設け、全職員が研修を受けている
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束に関する研修を受け、職員の共通認識として把握している。命を守るため緊急を要する場合に行ったことについては保護者へ報告する（事前に支援計画へは記載しておく）
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者からアレルギー診断書を提出してもらい、個別に対応している
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			危険な事例があった場合、職員で共有しヒヤリハット報告に記載する